

# 第58期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

# GECOSS REPORT



東京都千代田区 東京駅前常盤橋プロジェクト Torch Tower

## 社長メッセージ

堅調な需要を背景に、連結経常利益68億円となり、年間配当は54円としました。また、新理念体系および中期経営計画（2025～2027年度）を策定いたしました。



### 2024年度の概況について

2024年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものと見られます。ただし今後については、アメリカの関税政策変更、及びこれを受けた他国の対抗措置により世界経済の先行きは不透明感を増しており、日本への影響も懸念される状況となっております。

建設業界における当社グループの事業領域では公共、民間ともに需要は堅調だったものの、労働需給の逼迫や建設コストの上昇等により、分野や地域によっては厳しい状況となりました。

このような経営環境のなか、当社グループはコストアップの価格転嫁にとどまらず、適正な価格水準への改善を最重点課題に掲げて活動してまいりました。今後も堅調な需要を背景に、引き続き取り組みを強化いたします。

2024年度の業績は、売上高1,115億50百万円、営業利益68億51百万円、経常利益67億94百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は45億43百万円となりました。

### 2025年度の見通しについて

当社グループは2025～2027年度を対象とする中期経営計画を策定いたしました。「今後

の事業環境変化を見据えた成長基盤の確立と、その成長戦略を支える労働生産性向上」をこの3年間の基本方針と定め、抜本的な業務改革を推進し、そこから生み出された資源を基に、事業領域の多様化や長期視点に立った新たな価値の創出のために躊躇せず経営資源を投入し、持続的成長期待の実現を目指します。

2025年度の事業環境は、労働需給の逼迫や建設コストの高止まりは継続するものの、当社グループの事業領域では需要は引き続き堅調に推移するものと見込んでおります。ただし、アメリカの関税政策が建設需要に及ぼす影響については、現時点では日米交渉等の行方を見通せず、状況を注視しております。このような環境のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた各施策を着実に推し進めてまいります。

重仮設事業では、コストに見合う適正対価の取得をはじめとする収益力向上、首都圏での施工能力向上、長期的にも堅調な需要が見込まれる土木工事の受注拡大に注力するとともに、鉄構加工・橋梁分野ではインフラ更新需要を取り込み、事業規模の拡大を目指します。また、労働生産性向上と事業ポートフォリオ多様化の実現に向け、2025年4月に新設した専任部署（業務改革推進部、ジオ・エンジニアリング部）を中心に取り組んでまいります。海外事業については、シンガポールのFUCHI Pte. Ltd.

との連携を強化し、シナジー拡大を図ります。

建設機械事業では、ヘリオムーブ®（内装業者向け天台）、BROKK®（無人施工ロボット）等の新商品や採算性の高い商品の品揃えを拡充し、賃貸用資産の構成見直しをさらに進めるとともに、当社、JFEグループ及びみずほリース株式会社との連携、協業を強化すること等により、収益基盤を再構築いたします。

以上により、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,110億円、営業利益67億円、経常利益70億円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億円を見込んでおります。

なお、当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重点課題として位置付け、中期経営計画において配当方針を「配当性向40％程度、DOE2.5％以上」を目安としており、次期の1株当たり配当金につきましては年間57円（うち中間配当23円）を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

野房喜幸

## 中期経営計画(2025~2027年度)を策定

当社は、『新理念体系(目指す姿)』を拠り所とし、その実現のために今やるべきことを定めていくという考え方に沿い、中期経営計画(2025~2027年度)を策定いたしました。

環境変化に左右されずに安定して収益を上げ、成長を図るためには、現在の国内重仮設を主にした事業領域をより多様化していくことが大きな課題であり、その実現のために、鉄構加工と橋梁分野の一層の強化はもとより、山留周辺分野でのターゲットを絞った事業化、今後の環境変化を見据えた新たな事業分野の探索、海外事業の強化等、長期視点に立った新たな価値の創出のために躊躇せず経営資源を投入し、持続的成長期待の実現を目指します。

また、持続的成長実現と将来の社員数減少局面への備えとして労働生産性向上は重要な経営課題と認識しており、労働生産性向上に向け、本年4月に業務改革推進部を新設いたしました。業務プロセスの可視化と標準化、部門横断的な業務改革の推進、DX戦略の策定・推進により、労働生産性の向上に取り組んでまいります。

当社グループは、2025年度を新たなスタートの年と位置づけ、グループ社員全員が自分事として新たな価値の創出に取り組み、社会の課題や期待に応え続けることで、すべての人が安心と発展を感じる未来づくりに貢献してまいります。

**中長期的事業戦略**  
 ~重仮設事業を核に事業領域を拡大し、事業ポートフォリオの多様化を推進~  
**ジェコスグループ中期経営計画(2025~2027)**  
 事業環境変化を見据えた成長基盤確立と成長戦略を支える労働生産性向上  
 (成長戦略)

**1** 国内重仮設事業  
収益力向上

**2** 建設機械事業  
基盤再構築

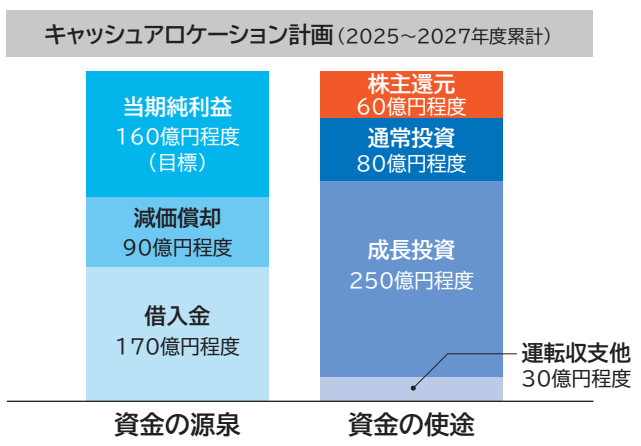
**3** 鉄構加工・橋梁  
分野規模拡大

**4** 海外・山留周辺  
事業領域拡大

2027年度中期最終年度主要指標		
収益目標	営業利益	85億円
	当期純利益	60億円
財務目標	ROE	8.0%以上
	D/Eレシオ	最大0.4倍程度
配当方針	配当性向	40%程度
	DOE	2.5%以上

中長期目標

**PBR: 1.0倍以上、ROE: 10.0%以上**



トピックス

1

TOPICS

「支える力」で、未来を拓く。  
～新理念体系(目指す姿)を策定、コーポレートロゴを変更～

当社の存在意義は、「支える力」ですべての人に明るい未来を拓いていくことにあります。その実現のため、これまでの「支える力」を更に拡充させる事業戦略を推し進めてまいります。重仮設事業を核に、事業領域を拡大し、同時にグループ力の強化を図ることで、新たな「支える力」を発揮し、社会課題の解決に取り組み、期待に応え続け、すべての人が安心と発展を感じる未来づくりに貢献します。その中で、人に寄り添い、チームワークで応え、挑戦し続けることが、目標達成への原動力であり、大切な価値であると考えております。



新コーポレートロゴマーク

新理念体系に込められた想いをより体現できるデザインにコーポレートロゴマークを変更



中央に配したマークは、「上向きの矢印」をイメージした2本の太い線で構成され、英字社名の頭文字「G」を表しています。この線は、お客様だけではなく仲間やグループ会社、協力会社とともに社会基盤を支え、未来を拓きながら成長していく様子を表現しています。カラーリングには色味の異なる2色の青を採用することで、「柔軟さ」や「誠実さ」、「信頼」、明るい未来の象徴とも言える「青空」を想起できるデザインとしました。

2

TOPICS

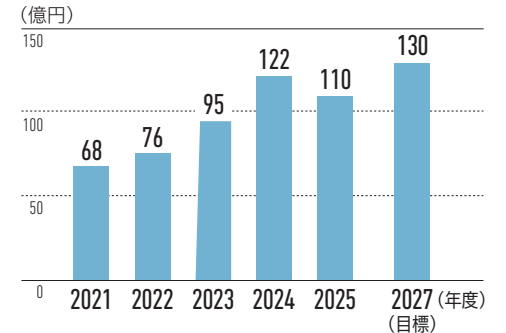
鉄構加工・橋梁分野への取り組み

鉄構加工・橋梁分野は、国土強靱化および予防保全等の推進による需要増加を見込んでおり、それに対応可能な事業体制構築に取り組んでおります。鉄構加工につきましては、鉄道・道路を中心とするインフラ更新需要を取り込み、橋梁につきましては、西日本ヤードの新設により東西2拠点体制を確立し、全国展開を強化してまいります。

2024年度には、2023年6月の記録的な大雨による災害の復旧工事として、橋脚が傾いた山口県栗野川橋梁の復旧のために仮設橋梁EGスパン®を架設いたしました。

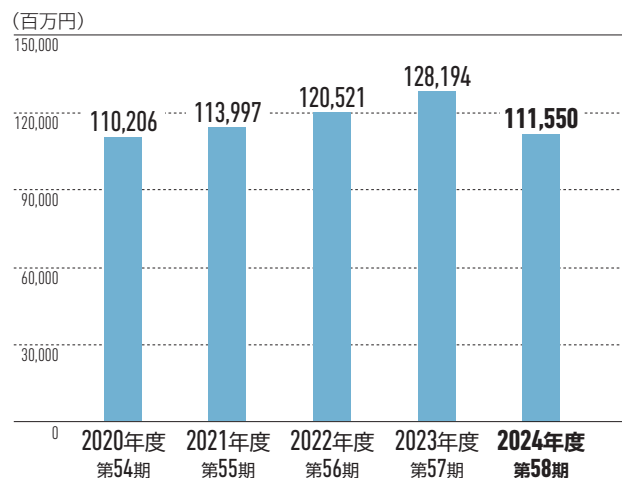
当社はこれらの取り組みを着実に推進することにより、引き続き安心・安全な社会の建設に貢献してまいります。

● 鉄構加工・橋梁分野売上高推移

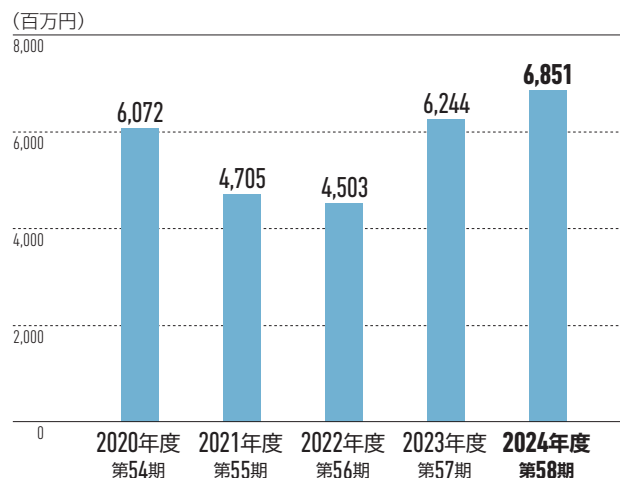


## 連結財務ハイライト

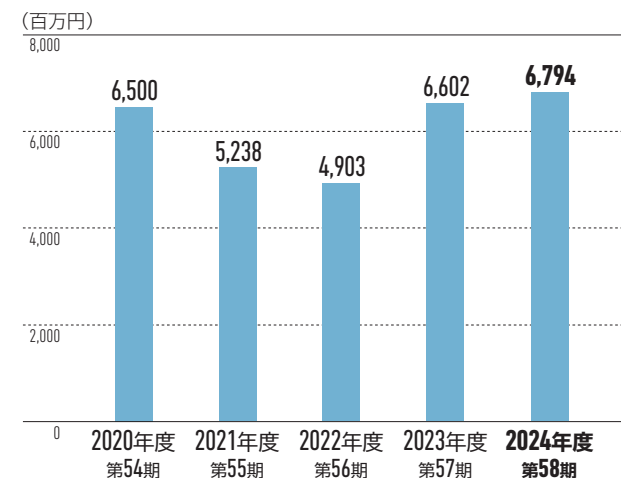
### 売上高



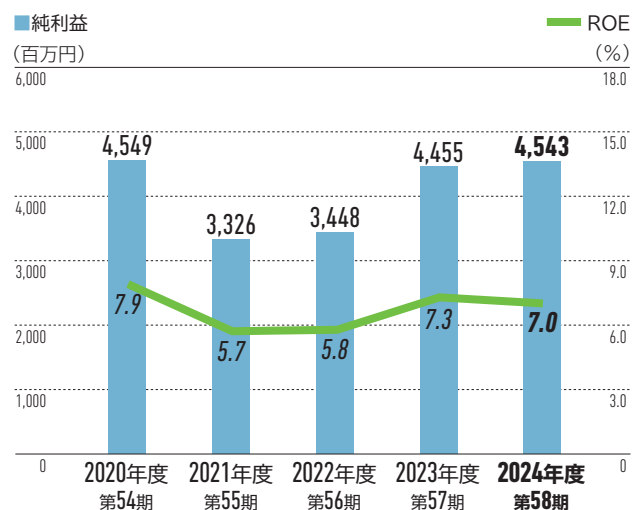
### 営業利益



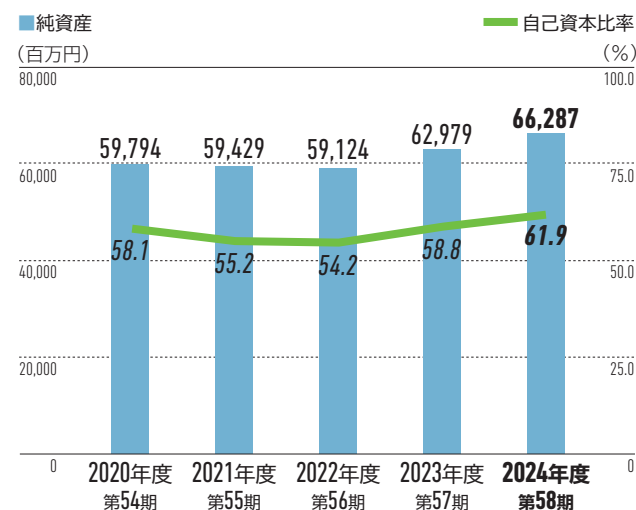
### 経常利益



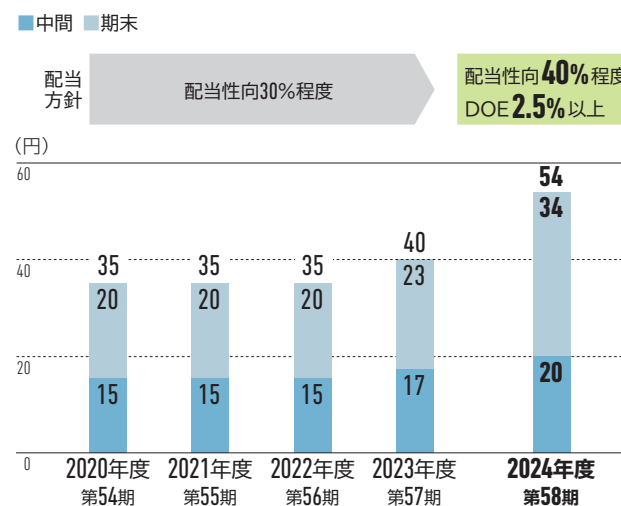
### 純利益・ROE



### 純資産・自己資本比率



### 配当



(注) 会計基準の一部改正により、2022年度および2023年度は当該影響を避及適用後の数値を記載しております

## 株主メモ

社名	ジェコス株式会社
社名(英文)	GECOSS CORPORATION
資本金	4,397,500,000円
設立	1968年6月20日
従業員数	1,382名(連結)(2025年3月31日現在)
本社所在地	〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1 (住友不動産飯田橋ファーストビル)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● H形鋼、鋼矢板、鋼製山留材、覆工板、敷鉄板等の建設工事用仮設鋼材の賃貸および販売</li> <li>● スチールセグメント、H形支保工等の加工品(製品)の製作加工および販売</li> <li>● 仮設橋梁の賃貸・販売および施工</li> <li>● 建設用機械、高所作業車等の賃貸</li> <li>● 杭打抜工事、山留架設・解体工事、ソイルセメント柱列壁工事等の設計および施工</li> </ul>
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
URL	<a href="https://www.gecoss.co.jp/">https://www.gecoss.co.jp/</a>
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株

## 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

## 郵便物送付先 電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 公告方法

## 電子公告

なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。

※公告掲載の当社ホームページアドレス

▶ <https://www.gecoss.co.jp/>

## ● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 働きがいのある職場の実現に向けた取り組み

当社は、社員が自身の持つ能力を最大限に発揮できる働きがいのある職場づくりを進めており、その取り組みが評価され、右記の認定を受けております。今後も社員の働きやすさ、働きがいにつながる職場環境づくりを進めてまいります。

日本健康会議より  
「健康経営優良法人2025」  
(大規模法人部門)



厚生労働省より次世代育成  
支援対策推進法に基づき、  
子育てサポート企業  
「くるみん」認定



大阪市より「女性活躍  
リーディングカンパニー」の  
最高基準「三ツ星」認証

